

年代順エピソードリスト

詳細記事があるものは、エピソードタイトルをクリックで紹介記事に飛べます。

70年代

クリー・スクラル・ウォー (1971-1972年)

- アベンジャーズのストーリーライン。(Avengers #89-97)
- クリー人戦士キャプテン・マーヴルが原因となり、地球はクリーとスクラルの二大宇宙列強種族の抗争に巻き込まれる。
- アヴェンジャーズとリック・ジョーンズはキャプテン・マーヴルに協力すべく、戦争に介入する。

デス・オブ・グエン・ステーシー(1973年)

- スパイダーマンのストーリーライン。
- ハリーがLSDを飲んだ事をきっかけにオズボーンがグエンを攫い、死に至らしめてしまう。
- 当時スタン・リーは海外旅行中で帰国後このエピソードを知った。

デーモン・イン・ア・ボトル(1979年)

- アイアンマンのストーリーライン。(IRON MAN #120-128)
 - 自らの内面に存在する敵、『アルコール依存症』に立ち向かうアイアンマンを描く。
-

80年代

ドゥームクエスト(1979年)

- アイアンマンのストーリーライン。(IRON MAN #149-150)
- アーサー王時代のイギリスにタイムスリップしたアイアンマンとドクター・ドゥームを描く。
 - アイアンマンとドクター・ドゥームが未来にタイムスリップするIron Man #249-250は続編である。

ダークフェニックスサーガ(1980年)

バラード・オブ・ベータ・レイ・ビル (1983-1984年)

- ・ ソーのストーリーライン。
- ・ ベータレイビルが初登場、ベータレイビルとソーが戦い、戦いの後に義兄弟となる。
- ・ この後ソーはハンマーの魔力のひとつをビルのハンマーに移した為、医師ドナルドブレイクの変身が不可能に

シークレット・ウォーズ (1984-1985年)

- ・ 大型クロスオーバー。
- ・ 謎の超存在ビオンダーがヒーローとヴィランを闘技場に召還し対決を強要した事件。
 - ドクター・ドゥームがビオンダーの超存在パワーを奪おうと企む。
- ・ スパイダーマンがシンビオートと接触。黒い「エイリアンコスチューム」を手に入れる。

シークレット・ウォーズII (1985-1986年)

- ・ 大型クロスオーバー。
- ・ 全宇宙の破壊を目論むビオンダーを阻止すべく、モレキュールマンが対決を挑む。
- ・ 単身では勝てなかったモレキュールマンは地球の全ヒーローの力を結集しようとする。

ミュータント・マサカー(1986年)

- ・ [マローダーズ](#)による[モーロック](#)虐殺が行われ、Xチームも大きな痛手を負う事となる。
- ・ 劇中、フォールオブミュータンツへと続く伏線も。
- ・ X-MENを中心としたクロスオーバーだが、ソー、デアデビル、パワーパックにも関連。

クレイブンズ・ラストハント(1987年)

- ・ スパイダーマンのストーリーライン。

[フォールオブミュータンツ](#)(1987年)

- ・ アポカリプスの侵攻、魔神アドバーサリーとの戦いを描くX-MEN系大型クロスオーバー。
- ・ この戦いで、X-MENは全滅する事となるが.....
- ・ タイインでキャプテンアメリカ、FF等も参戦している。

[アーマーウォーズ](#) (1988年)

- ・ アイアンマンのストーリーライン。(Iron Man #225-232)
- ・ スパイマスターの手によってアイアンマンの技術が流出した事を知ったアイアンマンの暴走を描く。

インフェルノ(1989年)

- 大型クロスオーバー
- 悪魔ナスティアの陰謀により、マンハッタン全体が地獄と一体化し、悪魔の侵略に晒された事件
- X-MEN、X-FACTOR、ニューミュタント、そして多くのヒーロー達の活躍で魔界は元に戻された。
- 【ネタバレ】
- 【ネタバレ】

- 【ネタバレ】
- 【ネタバレ】

- 事件後、多くの人間は幻覚を見たと思い込み、事件があった事を忘れてしまっている。

アクツ・オブ・ヴェンジェンス (1989-1990年)

- マーベル世界の悪漢(ヴィラン)マグニート、魔神ロキ、キングピン、レッドスカル、Drドーム達がチームを組んでヒーロー達に戦いを挑む。
 - 『雷神ソーVSジャガーノート』『スパイダーマンVSマグニート』といった普段余り見られない組み合わせで展開された。
- この時、本家X-MENは異次元の門を開いたせいでバラバラにはぐれており、参戦していないが、サイロックがアイアンマン誌のヴィランであるマンダリンに洗脳されてウルヴァリンと対戦する展開が同時に行われている。
- 【ネタバレ】マグニートは

90年代

デイズオブフューチャー プレゼント (1990年)

- FF、X-FORCE、X-FACTOR、X-MENのクロスオーバー。デイズオブフューチャーパストの続編的エピソード。
 - 四誌全てANNUALでのクロスオーバーである。
- ある日FFが基地に戻ると、なぜかフォーフリーダムプラザとバクスタービルが入れ替わっており、中にはなぜかもう一組のFFが...
- 未来から来た青年姿のフランクリン・リチャーズとレイチェルがNYに出現。彼らを追うようにして謎の男エイハブとその部下達が出現し、事件は拡大していく。
- レイチェルがジーンに自分が未来の娘であると初めて明かす。
- ネタバレ：

インフィニティ・ガントレット (1991年)

- 大型クロスオーバーイベント。MARVEL 史上でも特筆すべき、壮大、壮絶なエピソード。
- 小学館プロダクションより月刊マーベルクロスで日本語版が載せられた
- タイタン人サノスが超存在の宝石を集め、万能のアイテム、インフィニティガントレットを完成させる。
- 万能の力を振るい、恋焦がれる死の女神デスの気を引くためだけに、この世の半分の生命を消去した。
- 生き残ったマーベルヒーロー達はアダム・ウォーロックに率いられ、総攻撃を仕掛けるが、全滅。全員が死亡した。
 - この総攻撃はアダム&シルバーサーファーによる奇襲を成功させるむための陽動だったが、その奇襲も失敗に終わった。
- ついにはコズミックビーイングが結集。サノスに集中攻撃を仕掛けるも、これもまた全滅。サノスは宇宙最高神エターニティをも倒し、その地位に就く。
- 【ネタバレ】
- 【ネタバレ】
- 【ネタバレ】死んだものと思われたサノスは
- この後、続編『～ウォー』『～クルセイド』が出版される。

エクスクーショナーズ・ソング (1992年)

- Xメン系のクロスオーバーイベント。
- ケーブルの姿をしたストライフが教授を狙撃する。
- アポカリプス、ストライフ、X-MEN陣営が敵味方入り混じって激闘を繰り広げる。

ドラゴン・シード・サーガ(1991-1992年)

- アイアンマンのストーリーライン。(IRON MAN #270-275)
- フィン・ファン・フーンとその一族の正体を巡って、彼らとアイアンマン、マンダリン、三つ巴の抗争

フェイタルアトラクションズ(1993年)

- X-MEN系のクロスオーバー。
- マグニートーとアコライツによる全人類粛清を防ぐべく、Xチームは衛星要塞アバロンへと突入する。
- 【ネタバレ】教授のテレパス攻撃により
 - 【ネタバレ】
(関連：オンスロート)
- 【ネタバレ】ウルヴァリンは

マキシマム・カーネイジ(1993年)

- スパイダーマンのストーリーライン。
- ニューヨークを襲うカーネイジにスパイダーマンとベノムが立ち向かう。

ブラッド・タイズ(1993年)

- Xメンとアベンジャーズのクロスオーバー。
- エクソダスとの戦い。

クローンサーガ(1994-1996年)

- スパイダーマンのストーリーライン。
- ピーター・パーカーのクローン、ベン・ライリーをめぐる一連の事件。
 - ベン・ライリーが実は本物のピーター・パーカーで、読者がピーターだと思っていた主人公がクローンであることが明らかになり、さらにMJの妊娠が発覚したので、今まで主人公だったピーターはスパイダーマンを引退する。
 - その後やっぱりベン・ライリーがクローンであることが明らかになり、ベン・ライリーは死に、MJは流産し、ピーターはスパイダーマンとして復帰した。
- このストーリーの影響で、オリジナルであるピーターは一時期自身をクローンだと思い込んでいた。
- 日本語訳オンスロートはこの事件の最中。
- 90年代の無計画なストーリーラインの代表例とされることもしばしば。

ハンズ・オブ・マンダリン(1995年)

- アイアンマンのストーリーライン。(War Machine 8-10号、Force Works 6-7号、IronMan 310-312号)
- 全てのテクノロジーを無効化する魔力を備えた宝珠ハート・オブ・ダークネスの力によって世界中のハイテク機器を麻痺させ、世界征服に王手をかけたマンダリンとアイアンマン、ウォーマシン、フォースワークスの決戦。
 - マンダリン、アイアンマンの正体を知る
- アイアンマンの策略にかかり、オーガニックウィルスに感染させられマンダリン、ハート・オブ・ダークネスの魔力によって放逐される
- マンダリンがアイアンマン誌以外に登場する貴重なエピソード

オペレーション・リボーン(1994-1995年)

- キャプテンアメリカのストーリーライン。(Captain America #445-448)
- コズミックキューブの中の理想化された過去世界に閉じ込められたキャップの、そこからの帰還を描いた。

リージョンクエスト(1994-1995年)

- リージョンがタイムトラベルで過去に遡り、父親チャールズ・エクゼビアの夢の実現のために、マグニートを殺そうとする。
- 【ネタバレ】
- 【ネタバレ】
- タイムパラドックスにより、エム克蘭・クリスタルの力で全てを結晶化させている。
 - このクロスオーバーのタイ・イン誌だけでなく、Xタイトルのラストも結晶化で終了している。

エイジオブアポカリプス (1995年)

- Xメンのイベント。
- 過去世界でエグゼビアが殺害された結果、現代世界はアポカリプスが人類を支配する荒廃した世界となってしまう。
- 【ネタバレ】の力で
- 再び過去へ戻り、エグゼビア殺害を阻止。無事に世界の歴史は復元された。
- 【ネタバレ】シーアールのクリスタルパワーでらが本編の世界へワープする
- この世界の少女ブリンクが人気を博し、その後『エグザイルズ』誌のメインキャラクターに抜擢される。

クロッシング (1995年-1996年)

- アベンジャーズ系のストーリーライン(Avengers Crossing, Avengers 390-395, Force Works 16-19, IronMan 321-325, Avengers Timeslide)
- 謎の暗殺者の手で、次々とアヴェンジャーズメンバーとその関係者が殺される
- 暗殺者の正体は、カーンの手で昔から洗脳を受け狂気に走ったアイアンマンだった

オンスロート (1996年)

- 大型クロスオーバーイベント。
- ビショップが追いつけた裏切り者の正体が判明。
- 非X-MENタイトルのヒーローの多くが戦死する。
 - 若返ったトニーもここで死んでしまった。

ヒーローズリボーン (1996-1997年)

- 大型クロスオーバーイベント。全12話+番外編1話。
- アイアンマン・ファンタステックフォー・キャプテンアメリカ・アヴェンジャーズの四誌が新たに仕切りなおされてリスタート。
- オンスロートとの戦いで死亡したヒーロー達が別世界で生まれ変わる。
 - 若返ったはずのトニーはまたおっさんとして生まれ変わった。

- ・少女バッキーが初登場。
- ・全12話終了後、ワイルドストーム社とのクロスオーバーイベントである番外編# 13が発行された。
 - ドクタードームが異世界ワイルドストームとリボーン世界を融合させる装置を発明、軍を率いてヒーロー連合と戦うが、肝心の装置を兵士リック・ジョーンズに壊され、このエピソード自体が無かった事になった。
- ・【ネタバレ】雷神ソー

ヒーローズリターン（1997年）

- ・フランクリン・リチャーズがリボーン世界を訪れる
- ・別世界から正史世界へとヒーロー達が帰還する。
 - ドクタードームが妨害するものの、失敗。別世界（リボーン世界）に残って征圧を開始。
- ・スパイダーマン、正史世界でのグリーンゴブリン騒動より引退していたが再び復帰。
- ・ファンタステックフォー、無事に生還しニューヨークをおそう脅威から町を救い再起をはたす。
- ・キャプテンアメリカが円型シールドを深海に落としてしまう。後に最新型ビームシールドを装備。
- ・アイアンマン、おっさんトニースタークがまたしても負傷してアーマーの生命装置を装着する羽目に。
- ・雷神ソーも無事帰還するもの人造人間デストロイヤーによって殺害され、巻き添えをくらった消防士男性の肉体に転生される。
- ・アヴェンジャーズ、かつてのメンバーらが謎の攻撃を受けて再び召集。総勢100名を超えるメンバーが新たなる敵と戦う。ワンダーマン復活。

アポカリプストゥエルブ（1999年）

- ・X-MENのストーリーライン。魔人アポカリプスがエックスマン（ネイト・グレイ）ら12人のミュータントを拉致。
- ・アポカリプスがスクラルと同盟。ネイトと合体する事で現実改変を目論む。
- ・【ネタバレ】直前の展開でウルヴァリンが死亡した
- ・【ネタバレ】ネイトとの合体は
- ・結果：「エイジズ・オブ・アポカリプス」へと続く。

2000年代

エイジズオブアポカリプス（2000年）

- ・アポカリプストゥエルブによって行われた現実改変で世界は変貌を遂げる。
- ・妻ジーン・グレイが様々な時代で夫サイクロプスを探す。
- ・近未来のウルヴァリンはスパイダーマン、ハルク、ゴーストライダーらと新ファンタス

ティック4を結成して戦っていた。

- 【ネタバレ】：この近未来世界はである。
- 結果：世界は元に戻ったが、サイクロプスはアポカリプスと融合したまま行方不明となる。

マキシマム・セキュリティ（2000年）

- クリーの陰謀により、地球を銀河系の犯罪者を集めた牢獄と化す計画が発動。
- 地球を生物惑星エゴが飲み込みかける。
- 雷神ソーおおいそがし
- 新U.S.エージェントが登場
- 【小ネタ】作中Xメンのストームが

アベンジャーズ/サンダーボルツ（2004年）

- アベンジャーズと[サンダーボルツ](#)のクロスオーバー。全6号。

アベンジャーズ・ディスアッセンブルド（2004年）

- アベンジャーズのクロスオーバーイベント。
 - メインライター：ブライアン・マイケル・ベンディス
- アベンジャーズの解散を描く。
- 【ネタバレ】（関連：ハウス・オブ・M）
- 【ネタバレ】
- 【ネタバレ】

シークレット・ウォー（2004-2005年）

- 大型クロスオーバーイベント。
- ドゥーム不在時のラトヴェリアの首相ルシアが影でアメリカのヴィランを支援してテロを画策していたのが発覚。
- ニック・フューリーがルシアを叩こうとするも政治家に阻まれたので独断でヒーロー連れてルシアを暗殺。
- キャップ以外のヒーロー達の記憶を抹消して証拠隠滅。
- だが1年後、生きていたルシアがヒーロー達に報復攻撃を開始。
- 結局ルシアを倒す事に成功はするものの、キャップがみんなに真相をバラす。
- 【ネタバレ】

ブレイクアウト（2005年）

- ニューアベンジャーズの結成イベント。
- エレクトロがライカー島にあるラフト刑務所のセキュリティを破壊。収監されていた多数

- のスーパーヴィランが放たれてしまう。
- この大規模脱獄事件に駆けつけたヒーロー達がニューアベンジャーズとなった。
- 【ネタバレ】エレクトロをそそのかした人物は _____ である。(関連：シークレットインベーション)

ハウス・オブ・M (2005年)

- 大型クロスオーバーイベント。力を暴走させたスカーレットウィッチは、自分の望む世界へと現実を改変してしまう。
- ストーリー

- アベンジャーズ・ディスアッセンブルドで発狂したスカーレットウィッチ。日ごと制御を失っていく彼女を殺すべきか否かの選択を迫られる [Xメン?](#) と [ニューアベンジャーズ](#)。
- そんな中、力を暴走させたスカーレットウィッチは、自らの能力で自分の望む世界へと現実を改変してしまう。
- その世界はマグニート王家が治める、ミュータントに統治された平和な世界だった。

- 【ネタバレ】それは、全ての人の現世での望みが結実した、理想の世界の**はず**だった。 _____ から世界のバランスが壊れ始める

- ウルヴァリンは記憶を戻す能力を持つ少女レイラ・ミラーと共に仲間を集め、首謀者と思われるマグニートーへと反旗を翻した。
- この世界ではキャプテンアメリカは老人になっていた為、仲間にはしなかった。よってリーダーは我らがサイクロップスである。
- 【ネタバレ】
- 【重大なネタバレ】

結果

- 【ネタバレ】
 - 【ネタバレ】
 - この事件の結果、ミュータントは200人以下に激減。この日をMデイという。
 - 謎の少女、レイラ・ミラーが初登場。
- 「ハウス・オブ・M」とは「マグナス王家」という意味。(マグナスはマグニートーのミドルネーム)
 - この後、能力を失ったクイックシルバーの騒動を描く「サン・オブ・M」(マグナスの息子)が出版される

ディシメーション (2005年)

- ミュータントの大半が能力を失ったM Day後の一連の出来事。

プラネットハルク (2006年)

- ハルクのストーリーライン。
- イルミネイティによって宇宙に追放されたハルク。
- 不時着した惑星サカーに君臨する暴君レッドキングと戦い、王となる。
- ハルクという言葉が発音できない者は彼のことをグリーンズカー、グリーンキングなどと呼ぶ。
- 闘技場で偶然にもシルバーサーファーと再会、彼はサヴェジ・サーファーとして闘技場の奴隷にされてた
- 戦いの中でハルクの知能が常人並みに上がる。
- 【ネタバレ】ハルクはイルミネイティへの復讐を決意。
- 【ネタバレ】女闘士クレアは
- ストーリーは2007年のワールドウォーハルクへと続く。

アナリアレーション (2006年)

- コズミックタイトルの大型クロスオーバーイベント。
- アニヒラス率いるネガティブゾーンの侵略群アナリアレーションウェーブ (破滅の波) がこちら側の宇宙を席卷する。
- スクラル帝国はほぼ全滅に近い損害を受けた。クリー帝国も甚大な被害を受ける。ほぼ無傷のシーアー帝国は対岸の火事と傍観していた。
- ノヴァ・コースはリチャードライダーを残して全滅した。
- **結果**
 - 【ネタバレ】ドラックスにより
 - 【ネタバレ】
 - 【ネタバレ】ノヴァによりアニヒラスが殺害される。

シヴィル・ウォー (2006年)

- 大型クロスオーバーイベント。超人登録法を巡り、全米のヒーローが推進派と反対派に分かれて戦争を始める。
- **ストーリー**
 - スタンフォードにおける超人同士のバトルに巻き込まれ、数百人の一般人が死んでしまうという痛ましい事件が起きた。
 - ヒーローは統制されるべきという考えのもと、超人登録法が制定された。
 - 登録法をめぐってキャプテンアメリカを筆頭とする反対派とアイアンマンを筆頭とする推進派のバトルが始まった。
 - 【ネタバレ】ソーのクローンがしたことにより、戦争はいよいよ激化して行く。
 - 【ネタバレ】推進派だったスパイダーマンは
 - 【重大なネタバレ】戦争は終結し
 - 【ネタバレ】メイおばさんは(関連：ワン・モア・デイ)
 - 【ネタバレ】キャプテンアメリカは
- **結果**

- このイベント以降、登録法が正式に施行された。ルーク・ケイジをリーダーとする新生 [ニューアベンジャーズ](#) が結成。
 - 【ネタバレ】 スパイダーマンはブラックコスチュームになった。
 - 全米50州に一つずつヒーローチームを配置するイニシアチブが誕生。
 - 新生 [サンダーボルト](#) 結成。
 - 新生 [オメガフライト](#) 結成。
- コネチカット州スタンフォードはライター陣の一人、ジェフ・ローブが生まれ育った街である。
- シビルウォーとは『内戦』の意味で特に「アメリカン・シビルウォー」と言えば『南北戦争』の事である。

バック・イン・ブラック

- スパイダーマンストーリー
- 正体を公表した結果、メイ伯母さんが... (上記・シビルウォー【ネタバレ】参照)
- ここで復讐の為にブラックコスチュームへと着替え活動開始、
- ワン・モア・デイへと続く。

サイレント・ウォー (2007年)

- [インヒューマンズ](#) とXメンのクロスオーバーイベント。
- 結果
 - 【ネタバレ】

ワールド・ウォー・ハルク (2007年)

- 大型クロスオーバーイベント。(関連：プラネットハルク)
- 地球に來襲するハルクと地球のヒーローがバトル。
- ストーリー
 - 宇宙船に乗せて自分を宇宙に追放した拳句、安住の地となった新天地をも爆破した (と彼は思っている) [イルミネイティ](#) を恨むハルク。彼は宇宙で得た仲間達「ウォーバウンド」と共に復讐を決意する。
 - シビルウォー以来、地下に潜っていたニューアベンジャーズもこの時ばかりはアイアンマンらと共闘している。
 - かつてはハルクの友であり、ヴォイドによって彼を殺しかけたことがあるセントリーは当初は戦いを拒んでいた。
 - 【ネタバレ】ハルクは
- 【ネタバレ】激しい一騎打ちにより互いにボロボロになったハルクとセントリー。最後の一撃を放ったのは であつた。
- 【ネタバレ】 (関連：プラネットハルク)
- 結果
 - 【ネタバレ】
 - 終了後、ハルクの知能は元に戻つた。(理由は不明。)

・ 結果

- 【ネタバレ】ケーブルは赤ん坊を
- 【ネタバレ】ビショップは赤ん坊を

オンスロート・リボーン (2007-2008年??)

- ・ 『Onslaught Reborn』その名の通りオンスロートが復活。フランクリン少年が正史世界からリボーン世界へ再び移行する。
- ・ 【小ネタ】特別表紙絵（ジャケット）にはワイルドストーム関連の人たちが作画。
- ・ 【ネタバレ】ここでリボーン世界ホークアイの秘密が明かされる。
- ・ 【ネタバレ】少女バッキーがオンスロートを異次元空間へと道連れに。その結果、

ディバイデッドウィー スタンド(2008年)

- ・ X-MENのクロスオーバー。
- ・ メシアコンプレックス事件後のチームのそれぞれのその後を描く。
- ・ マジック、現世に帰還。

シークレット・インベージョン (2008年)

- ・ 大型クロスオーバーイベント。
- ・ 擬態能力により地球のヒーローやヴィランに化けて潜入していたスクラル達。彼らの一斉攻撃が始まった。
- ・ 結果

- 【ネタバレ】スクラルによって擬態された全員は
- 【ネタバレ】 は死亡。
- 【ネタバレ】 トニー・スタークは
- 【ネタバレ】 アベンジャーズ、S.H.I.E.L.D.、イニシアチブは

X-インフェルナス (2009年)

- ・ マジックのX-MEN復帰を描くエピソード。全四号。

ダークレイン (2009年)

- ・ 大型クロスオーバーイベント
- ・ 絶大な権力を手にしたノーマン・オズボーンが有力ヴィランを集め、秘密結社を結成。(表向き)合法的な手段でのアメリカ支配を開始する。
 - 表向きはヒーローとして、元ヴィラン中心にアベンジャーズの名を騙って編成した

「ダークアベンジャーズ」を結成。

- アイアン・パトリオットは
- ホークアイは
- ウルヴァリンは
- ミス・マーベルは、ミスマーベルの過去の衣装を着た

ユートピア（2009年）

- ダークレイン展開と繋がる、ダークアベンジャーズとX-MENのクロスオーバー。
- 反 mutant 運動が激化。mutant も応戦し、暴動に発展。鎮圧すべく [ダーク X-MEN](#) が結成される。
 - 【ネタバレ】エマが
 - 【ネタバレ】サイクロップスが

ウォー・オブ・キングス（2009年）

- 宇宙を舞台とするタイトル間の大型クロスオーバーイベント。
- シャイア領内に逃げ込んだスクラル残党を追うインヒューマンがシャイアと交戦。
 - クリーを支配下に置いたインヒューマンと、シャイアを支配下に置いた皇帝バルカンの戦争へと発展。
 - 【ネタバレ】バルカン、ブラックボルト、
 - アニヒラス残党とブラスターらによるネガティブゾーンの軍勢も介入。ダークホークの肉体を支配下に置く。
 - 【ネタバレ】リランドラはスタージャマーズ&ガーディアンズオブギャラクシーによって救出され、
 - 【ネタバレ】グラディエーターが

メシア・ウォー（2009年）

- メシア三部作の第二弾。主にケーブル誌とX-FORCE誌のクロスオーバー。
 - 未来世界を舞台に、メシア殺害を目論むビショップと、守ろうとするケーブルとの戦いが繰り広げられる。
 - それぞれの思惑をはらみ、ストライフとアポカリプスが参戦する。

ネイションX(2009年～2010年)

- X-MEN系各紙とデッドプール誌によるクロスオーバー
- カリフォルニア沖の島で独立を果たしたX-MEN率いるmutant国家を舞台にした展開。
- 【ネタバレ】
- 【ネタバレ】

ネクロージャ(2009年～2010年)

- X-MEN系クロスオーバー
- ミュータントの死者をテクノオーガニックウイルスにより次々蘇生し、配下に加えたブラッククイーンの軍団がユートピアに侵入。
- ジェノーシャを舞台に、大量のミュータントの蘇生が始まる。
- 【ネタバレ】
- 【ネタバレ】。その他、何人かの蘇生者がそのまま行方をくらましている。

レルム オブ キングス(2009年～2010年)

- ウォーオブキングスのその後を描く宇宙系クロスオーバー。
- シャイア皇帝となったグラディエーターは内乱の平定に乗り出す。
- インヒューマン女王となったメデューサはクリー帝国の維持に奮闘するが、内部に不穏な動きを抱えていた。

2010年代

シーズ(2009～2010年)

- オズボーンのアスガード侵攻に端を発する大型クロスオーバー。
- アスガードの危機にアベンジャーズらヒーローが結集する一大最終決戦編。
 - シビルウォー、シークレットインベージョン、ダークレイン、と続いてきた展開の最終章とも言える。
- 【ネタバレ】

ドゥームウォー(2010年)

- ビブラニウムを狙うドゥームがワカンダに内乱を起こし、国王ブラックパンサーはX-MENに協力を求める。

セカンド・カミング(2010年)

- X-MEN系の大型クロスオーバー。
- ケーブルとホープが現代に帰還し、ユートピアに合流。救世主と呼ばれる彼女を狙い、統合された反ミュータント組織が一斉攻撃を開始。
- ニムロッド軍団がユートピアを襲撃。多くの戦死者を出しながらX-MEN達は激闘を繰り広げる。

フォールオブザハルクス(2010年)

- レッドハルクがMODOKによって造られた存在と判明するが...
- リーダー、MODOKらによる組織「インテリジェンシア」がリード、ピム、マッコイら八人の天才を拉致すべく行動を開始する。
- 【ネタバレ】
- 【ネタバレ】 ヒーローとして活動を始める。
- 【ネタバレ】 事が判明する。

ワールドウォーハルクス(2010年)

- ハルク系キャラクターとデッドプールによるクロスオーバー。
- ヒーロー達が一斉にハルク化してしまう。
 - 【ネタバレ】 レッドハルクの正体は だった。
 - 【ネタバレ】 レッドシーハルクの正体は だった。
 - 【ネタバレ】

シャドウランド(2010年)

- スパイダーマン、アイアンフィスト、デアデビル、エレクトラ、パニッシャー、ルークケイジ、ゴーストライダー、サンダーボルツらによるクロスオーバー。
- マツオの死後ザ・ハンドの首領となったデアデビルがギャング狩りを開始。調査に乗り出したヒーロー達と激突する。
 - 【ネタバレ】 殺害される。
 - 【ネタバレ】 デアデビルの変心の原因は
 - 【ネタバレ】
- 新ヒーロー、二代目パワーマン登場。

ヒロイックエイジ

- シーズ後のアベンジャー系ストーリーライン。
- クロスオーバーと言うよりは、キャンペーンタイトルのようなものかもしれない。

カース・オブ・ザ・ミュータント

- 新創刊されたX-MEN誌のストーリーライン。
- 謎の吸血鬼の自爆テロによりジュビリーが吸血鬼化。調査によりヴァンパイアが全米に蔓延していた事が判明。
- X-MENは新たな吸血鬼軍団に対抗すべく、ドラキュラ伯爵を蘇生させる事に...
- 映画でもおなじみの吸血鬼ハンター・ブレイドと手を組むことに

カオスウォー(2010年~2011年)

- 神々の戦いを描く、ハーキュリー誌を主軸としたクロスオーバータイトル。
- アマツミカボシが混沌の邪神と化し、ハーキュリーは神々を集めゴッドスクワッドを組んで対抗する。アベンジャーズ、ハルク、X-MENら各ヒーローも登場。
- デッドアベンジャーズ等、死者によるチームが登場。バンシーやサンダーバード(初代)の姿も。

ファイアー・イット・セルフ(2011年)

- 2011年の大型クロスオーバーイベント。
- 恐れていた事が起きる?!という趣旨で「各キャラが内心に抱える恐怖」の予告イラストが次々発表されていた。
- レッドスカルの娘シンが父の残した大戦中の儀式の記録からアスガードのハンマーの位置を特定。力を手に入れる。
- シンがオーディンの宿敵サーペントの封印を解く。7つの神の武器が地球各地に飛来。
 - ジャガーノート、ハルク、タイタニア、アブソーピングマン、アトゥマ、ザ・シング、ガーゴイル、が武器を手にし、強大なパワーを得る
- シン、ナチスのロボット軍団と共にアメリカを攻撃。
 - 【ネタバレ】シンによって が殺害されてしまう。

エイジ・オブ・X(2011年)

- X-MEN LEGACY誌、NEW MUTANS誌を中心としたクロスオーバー
- 僅かに生き残ったミュータントが結界内に籠城している世界で、ローグはこの世界の真実に迫っていく...

X-MEN スキズム(2011年)

- サイクロップスとウルヴァリンが若手ミュータントの扱いを巡って決定的な断裂を起こしてしまう。
 - 【ネタバレ】

AVENGERS: X-SANCTION(2012年)

- AvsXの前章。テクノオーガニックウイルスによって余命24時間となった老体のケーブルが未来から帰還する。
- ケーブルはなぜかアベンジャーズメンバーを狙い、一人、また一人と倒していく...

A vs X (2012年)

- ホープとフェニックスフォースを巡り、アベンジャーズとX-MENが激突する。
-

その他

What if!? シリーズ

- もしも~~が~~だったら...? という作品群。
- 当然正史世界とは(ほぼ)無関係。

マーベル・フェアリーテールズ
